

九州女子大学 人間科学部

児童・幼児教育学科の学びを紹介

～「肢体不自由者支援学」～

特別支援学校（肢体不自由）における教育は通常学校の教育課程に準じますが、肢体不自由があるがゆえに、指導上の工夫・配慮が不可欠です。この科目では、肢体不自由者の障害特性や発達の過程を踏まえて、各教科等（国語・算数など）や自立活動などでの授業設計（授業の組み立て・教材づくり・指導法など）の方法について考えていきます。

Voice

* 授業担当・堀江先生より *

障害児の学習内容は多岐に渡ります。その分、様々な指導場面で「できた」と喜ぶ子どもの姿を目の当たりにできます。特別支援教育は本当にやりがいがあります。九女の学生や九女を目指す方には、ぜひ特別支援教育の専門性を身につけてほしい…と願っています。



授業風景 ① ↑

「自立活動」という授業で、上半身の緊張を軽減するための指導方法を紹介しています。



授業風景 ② ↑

障害のない人は当たり前に行える呼吸も、肢体不自由者には難しいことがあります。こういうことも授業で取り扱うのです。



← 授業風景 ③

肢体不自由者が安心して自分の身体に注意を向けられるよう、細やかな工夫や配慮が必要です。